A photograph showing two children, a boy and a girl, working on a wooden project outdoors. The boy, wearing a green t-shirt with 'SA' on it, is using a screwdriver. The girl, wearing a blue hoodie with 'ROXY' on the sleeve, is using a hammer. They are surrounded by stacks of wood and various tools like a hammer, a saw, and a nail set. The background shows a natural outdoor setting with rocks and trees.

市民提案型協働事業 成果報告

はだのプレーパーク

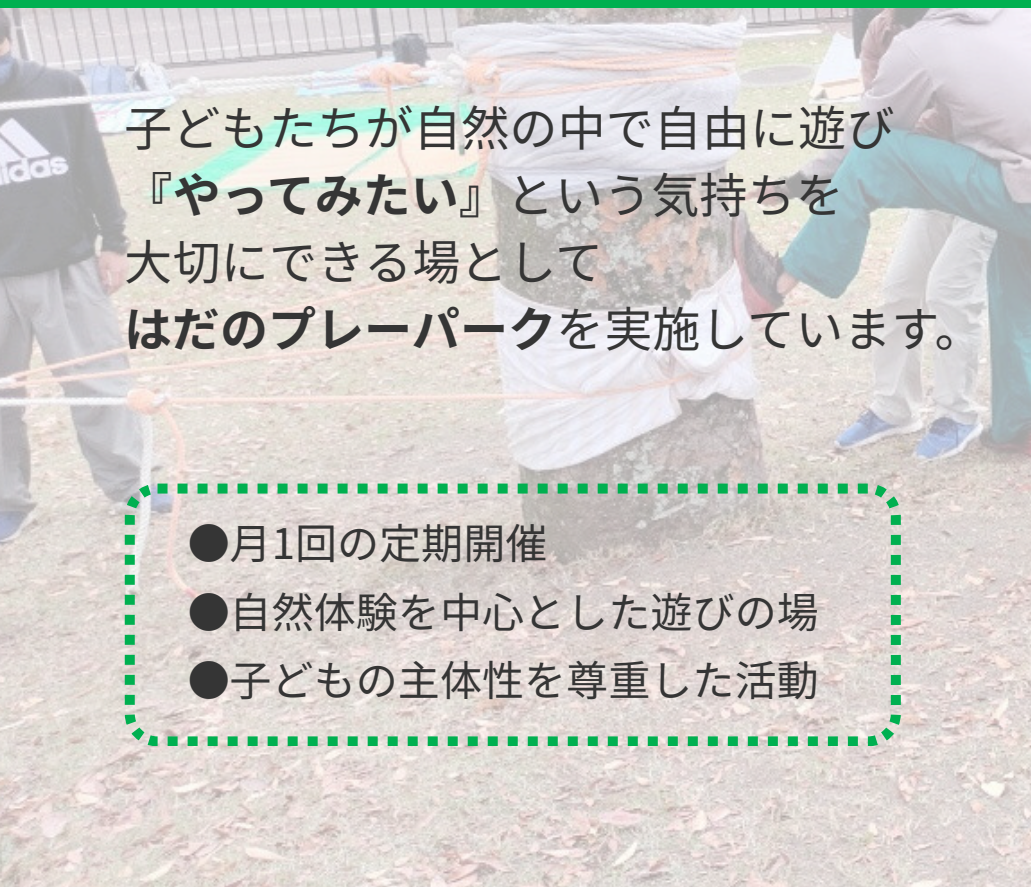
こだぬき会 代表 西村悦子

事業概要

子どもたちに「生き生きとした子ども時代」を

子どもたちが自然の中で自由に遊び
『やってみたい』という気持ちを
大切にできる場として
はだのプレーパークを実施しています。

- 月1回の定期開催
- 自然体験を中心とした遊びの場
- 子どもの主体性を尊重した活動



2025年の活動実績

毎月の開催に加え、季節に応じた自然体験も行いました。
7月・8月には四十八瀬川で川遊びを実施し、
2月には雪の日ならではの雪遊びも行うなど
秦野の自然を生かした多様な体験の機会をつくることができました。

- 開催日 : 毎月第3日曜日
- 開催時間 : 10時～15時
- 開催場所 : みやこ食堂奥の河原

プレーパークの成果

自然の中で自由に遊ぶことで
子どもたちの主体性や創造性が育まれました

秦野市の
豊かな自然

子育ての
孤立の防止

はだの
プレーパーク

子どもたちの
成長

交流の場

▶ 子どもが自然の中で心地よく過ごすことで四季を五感で感じ、自然を好きになるとともに大切にすることが育まれる。

▶ 子どもたちが秦野の自然をより好きになることで将来的な人口流出の抑制につながる。

▶ 親子で参加することで、保護者同士の交流が生まれ子育ての孤立を防ぐことにつながる。

▶ 地域交流のワークショップ等を通じて子どもや高齢者を含む多世代の交流の機会が増え市の活性化につながる。

▶ 異なる年齢の子ども同士の関わりを通じて仲間と遊ぶ楽しさを体感できる。

団体と秦野市の協働評価

● 団体

協働事業となったことで安心感が高まり、多くの方に参加していただくことができた。市の負担金により、毎月プレーリーダーを招くことができ遊びの幅が広がり、子どもたちが生き生きと遊ぶ姿が見られた。また、市長との意見交換の機会を得られたことやイベントの中で親子が楽しむ姿が見られたことも、成果の一つである。

プレーリーダー：自然の中での遊びを広げ、子どもたちに遊びのヒントを与える役割を担うプロ

● 秦野市

チラシ配布などの広報活動や利用施設との連絡調整を行い、こだぬき会の活動を支援することができた。また、5月に行われた「子どもまつり」でもプレーパークを開催していただき市の事業にもご協力していただいた。引き続き、連携を図り、子どもの居場所づくりの一つとして事業を支援していきたい。

今後の事業展開

- 来年度も引き続き、第3日曜日にプレーパークを開催し「**はだのプレーパーク**」の認知向上を図る。
- 子育ての孤立を防ぎ、**地域の中で子どもを見守り育てる環境づくりを進めていく。**
- 現在はSNSを中心とした広報であるため**SNSを利用していない方にも情報が届くよう、広報方法の工夫が必要である。**
- また、プレーパークには学校に通っていない子どもたちの参加も多いため**不登校支援の場としての活用についても検討していく。**
- 秦野の魅力を知ってもらい、**子育て世代の移住や地域でのつながりづくりに役立つ場としていきたい。**